



## 年頭にあたって



沼田市長  
星野 稔

は、利用者数3万8千人を超え、地域に高い経済効果をもたらしています。引き続き、経済活動を下支えるため、地域の経済循環を創る政策を展開してまいります。

市政運営においては、地域活動の拠点となる地区コミュニティセンターの各地区で、地域住民主体による「話し合い」がスタートしました。自分たちの地域の課題を自分たちで考え、深い結びつきや信頼のもとに連携する「地域主体のまちづくり」が、今後活発に進んでいくものと期待しています。

中心市街地「にぎわいの核」では、旧久米邸洋館の移築整備が着々と進んでいます。「大正ロマン」をイメージした街並みがさらに充実することから、市の新たな魅力として内外へ発信してまいります。

依然として困難な状況は続いています。本年は「課題解決と未来への投資」未来につなぐ持続可能なまちづくり」をキーワードに、将来にわたって着実に成長するまちづくりを推進してまいります。今後とも市民の皆さまのご意見を拝聴しながら、市政運営に反映できるよう全力で努めてまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、健康で幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございませう。輝かしい新春を健やかに迎えることとお喜び申し上げます。

昨年5月、市長に就任以来、「市民が主役・対話の市政」を基本理念として、市政運営にまい進してまいりました。改めて責任の重さを全身で感じるとともに、市民の皆さまの深いご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。

振り返りますと、長引くコロナ禍にウクライナ情勢などによる原油価格や物価の高騰が重なり、市民生活や地域経済におきましても大変厳しい年でありました。こうした中、電子地域通貨「tengoo（てんぐー）」の積極的導入などの経済政策や、ワクチン接種をはじめとする感染症対策に取り組んでまいりました。「tengoo」